平成29年
岡崎信用金庫
資料館
竣工100周年記念

和紙歌舞伎人形作家
田中　郁子

手にのるくらいの小さな人形で大きな感動を伝えられたら幸せです。

Profile

岡崎市在住。84歳
昭和22年（1947）、14歳から和紙歌舞伎人形を作り始める。結婚を機に人形製作を中断。平成13年（2001）、43年振りに人形製作再開。翌14年、「中部GAMシンガポール展」最優秀賞、シンガポール政府観光局賞受賞。
東京国立劇場、岡崎市文楽公演などに作品の展示を依頼されるほか、岡崎信用金庫資料館ギャラリーなどで個展開催。平成17年から5年間、東海愛知新聞にて「和紙歌舞伎人形のひとりごと」を連載。

Ikuko Tanaka

▲紅葉狩（前半）【8.5㎝】

▲戻駕色相肩（禿たより）【6.0㎝】

▲紅葉狩（更科姫）【8.0㎝】

Check

昭和22年の初めての作品。田中さんは「千代紙で作った人形らしき作品」と言いますが、14歳で作ったとは思えない出来栄えです。

▲籠釣瓶花街酔醒　（序幕　吉原仲之町見染の場）【14.0㎝】

岡崎信用金庫資料館は、平成29年、竣工100周年を迎えました。節目の年となる今年度は様々な催しを開催しています。12月1日から17日は、「和紙歌舞伎人形展」を開催します。今回は、和紙歌舞伎人形作家　田中郁子さんにお話を伺いました。

―人形作りを始めたきっかけは？

私が初めて人形を作ったのは14歳（女学校2年生）の時です。歌舞伎は4、5歳の頃から観ていたのですが、昭和21年、京都南座で観た「紅葉狩」更科姫からの感動は衝撃的で、「あの場面を何とか形に残せないか」そう思ったのがきっかけです。当時は終戦後、テレビやビデオはもちろんカラー写真機も無い時代。ですが、私の頭の中には感動したシーンがカラー写真のように鮮明に残っていて、どうにかして形にしようと必死になっていたと思います。

当時、白黒のカメラはあったんですが、人が写した舞台写真を見ても意味が無い。自分が感動したものを自分の手で作って残さなければ自分にとっての価値がないと思っていました。人が感動して写真に写したものはその人の感動であって、自分の感動とは違う。「感動の忘れ得ぬ舞台」をすべて自分の手で作り上げることが楽しくておもしろい作業であると思ったんです。

こんな思いが十代の頃から自分の中にあったんですね。でも、その頃の思いは今も変わっていませんよ。こんな話をすると気難しい変人と思われちゃうかな。（笑）

―人形作りに使う和紙や小道具もいろいろありますね。

一口に和紙といっても種類は数え切れないくらいあります。厚いものから向こうが透けるくらい繊細なもの、手触りや質感もさまざま。たくさんある中から「これは袴にいいな。こっちは小袖かな」といろいろ想像を巡らせるのがまた楽しくて。感動した場面の衣装と同じ色を再現したいので、和紙は自分で染めるところからすべて手作業です。高い染料なんかは使いません。孫のお下がりの絵の具で染めるんです。思い通りの色味にきれいに染まった和紙に筆で忠実に柄（模様）を描き、それがうまく仕上った時は人形の出来上がりが楽しみでわくわくします。同じ外題（題名）の舞台でも役者によって模様が異なったりしますから、遠目で見たら気付かないようなところまでついこだわってしまいます。満開の桜や松の木、駕籠、縁側や格子戸、山木戸、河原などの舞台セットにはじまり、行灯、燭台、火鉢、煙草盆、傘、髪飾りや刀、扇子、琴などの小物も手作りします。

▲京鹿子娘二人道成寺　後シテ（白拍子花子、櫻子）【16.0㎝】

▲京鹿子娘二人道成寺　前シテ（白拍子花子、櫻子）【8.5㎝】

―一つの人形を作るのにもずいぶん時間がかかりそうですね。

感動する舞台を観たとき、何かに急き立てられるように人形を作らなければと思います。作品によってかかる時間はさまざまですが、花櫛（はなくし）や簪（かんざし）一つ作るのに一晩かかったり、二体の人形の位置、絡（から）みの角度を決めて合わせるだけで幾晩も費やしたりと、「これだ！」と思うものになるまで妥協ができません。

桜がはらはら舞い散る風情ある時の流れや、しんしんと雪の降り積もる体の芯まで凍えそうな舞台の空気感を、静止している人形でどう表現しようか、作るのは大変ですが出来上がったときの達成感は何度味わっても格別のものがあります。

―人形に顔は描かないのですか。

私の作る人形にはどれも顔は描いていません。同じ舞台を観ても、人それぞれ感動する場面や思い描く表情が違いますので、人形を見る人が場面を思い描いて、好きに表情を想像してくれたらいいと思っています。

展覧会を開くと、前にもいらしたかたに、「前の人形には顔があったのに今回はなぜ描いていないのか」と聞かれることがあるんです。作者の私が「描いてないですよ」とお伝えしても、「いえ、絶対ありました」とおっしゃるんですよ。（笑）

田中さんの作る人形は、喜怒哀楽だけでなく、少女のような初々しさや女性の色香、また鬼気迫る舞台の緊迫感など、歌舞伎の舞台を観たことのない人が見ても、さまざまな表情や舞台の温度までもが伝わってくるようです。

―今は何か制作していますか。

私が人形を作るときは、家の者が寝静まってから深夜に集中してとりかかり、人形と同じ世界に入って夜が明けても気付かないこと度々です。最近は、まとまったその時間が作れないので充電期間といったところでしょうか。いつか大作にも挑戦したいし、まだまだ作りたい人形はたくさんあります。いくつになってもゴールのない作品作りですが、視力と指先が衰えるまで、感動する作品に出会える限り作り続けたいと思っています。

12月1日から当資料館で開催する「和紙歌舞伎人形展」では、さまざまな人形を近くでゆっくりご鑑賞いただけます。和紙歌舞伎の世界に浸ってみませんか。是非一度お越しください。

入館無料

和紙
歌舞伎人形展

12月1日(金)～17日(日)
岡崎信用金庫資料館

岡崎市伝馬通1丁目58番地
0564-24-2367
時　間：10時～17時
（入館は16時30分まで）
休館日：月曜日・祝日

平成29年度上半期 経営報告会

11月15日㈬・16日㈭午前11時より、当金庫名古屋支店にて、平成29年度上半期経営報告会を開催し、上半期の業績内容、取り組みについて報告をさせていただきました。

【業績の概要】

（預金積金）
平成29年度上半期の預金残高は、2兆9686億円となりました。

（貸出金）
平成29年度上半期の貸出金は、1兆5686億円となりました。

（自己資本）
自己資本比率は、12・69％となり、国内基準4％、国際基準8％を大きく上回る水準を維持しております。
また、自己資本額は、前期末比27億円増加して1981億円となり、業界トップクラスの体力を備えています。

（損益状況）
平成29年度上半期の中間純利益は、28億200万円となりました。

【平成29年度上半期の取り組み】

・平成29年9月25日に新築オープンした名古屋支店の紹介
・新築移転した店舗（岡崎駅西支店、池浦支店、半田支店）の紹介
・資料館竣工100周年記念事業について

以上

なお経営報告会では、ご来賓の方々を代表して愛知県立芸術大学学長松村公嗣様、株式会社御園座副会長長谷川栄胤様よりご挨拶、二代目萬屋仁兵衛氏によるからくり人形の実演をしていただきました。

当金庫会長
大林　市郎

二代目　萬屋仁兵衛氏による
からくり人形実演「蘭陵王」

株式会社御園座副会長
長谷川　栄胤氏

愛知県立芸術大学学長
松村　公嗣氏

第５回鈴木禎次賞授賞式【岡崎信用金庫資料館竣工100周年記念事業】

10月31日㈫、当金庫資料館の設計者である鈴木禎次氏にちなみ「第５回鈴木禎次賞」の授賞式を当金庫本店２階大ホールで開催しました。

この賞は創造性や機能性で卓越した建築物を設計した若手建築家をたたえるもので、８年前から２年ごとに名古屋工業大学と、OB会でつくる光鯱会が開催。５回目の今回は56点の応募があり、大賞など６組が受賞されました。

【大　賞】On the water（恩田 聡・青柳 創／株式会社 日建設計）

【優秀賞】ニフコYRP防爆棟･実験棟（越野 達也／株式会社 竹中工務店）
【優秀賞】MIZKAN MUSEUM（小川 大志・高橋 勉／株式会社 NTTファシリティーズ）

【佳　作】高崎アリーナ（窪田 研・小林 順／株式会社 山下設計）
【佳　作】新柏クリニック（吉岡 有美／株式会社 竹中工務店）
【佳　作】京橋エドグラン（伊東 宏和／株式会社 日建設計）

さがみ信用金庫 年金旅行で岡崎へ

当金庫は平成27年11月に開催した「家康公顕彰四百年記念シンポジウム」を機に、家康公とゆかりの深い地域にある８信用金庫※と「地域活性化に向けた連携に関する覚書」を締結しました。今回、連携先の一つである、さがみ信用金庫(神奈川県)の年金旅行「さがみ寿旅行会」（11月6日～17日）約1,000名の方々が岡崎市を訪れ、岡崎公園内の三河武士のやかた家康館とまるや八丁味噌を見学されました。岡崎公園では当金庫職員、岡崎市観光推進課、岡崎商工会議所関係者でお迎えして、岡崎市のPRパンフレット等を配布しました。

今後も連携８信用金庫と相互の地域発展を図る活動をしていきたいと考えております。

家康館を訪れた「さがみ寿旅行会」の皆さん

※ 会津信用金庫、鹿沼相互信用金庫、きのくに信用金庫、桑名信用金庫、さがみ信用金庫、滋賀中央信用金庫、城南信用金庫、鶴岡信用金庫（五十音順）

岡崎市「景観重要建造物」に指定されました。

10月31日㈫、当金庫資料館が岡崎市「景観重要建造物」に指定されました。

岡崎市「景観重要建造物」指定は、景観上重要な建造物であり、市民にとっても貴重な歴史的・文化的資産として、地域の個性ある景観まちづくりの核として推進していくものです。

平成29年度 おかしん講演会

聴講無料（先着順）

紺野 美沙子 朗読会

あなたが輝く 言葉とメロディ

～トークと朗読＋音楽の時間～

女優 紺野 美沙子 氏

平成30年2月15日(木)
14:00～15:30（開場 13:30）

岡崎市シビックセンター
4階コンサートホール「コロネット」
岡崎市羽根町字貴登野15　☎0564-72-5111

共演：
作曲家/ピアニスト 中村 由利子 氏

入場整理券が必要となります。 先着順

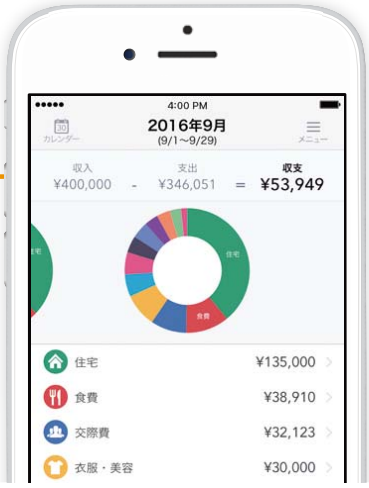
・聴講を希望される方は、お近くの岡崎信用金庫本支店の窓口にお申し出ください。
・定員(400名)となり次第締め切らせていただきます。

スマートフォンでかんたん家計簿

Money Forward for 岡崎信用金庫

利用者550万人の家計簿アプリ マネーフォワードから 岡崎信用金庫版が登場

- 「銀行」「クレジットカード」「電子マネー」「ポイント」などの金融機関関連サイトをつないで自動で家計簿にするので、「銀行にいくら預けているのか」「今月の支払はいくらあるのか」といった情報がすぐに分かります。
- 岡崎信用金庫だけでなく、他金融機関の口座やクレジットカードなど2600以上のサービスと連携可能です。
- 自動で家計簿が作成されることでお金への意識が高まり、節約につながります。



Mac App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

2017冬定期預金

ライフスタイルに合わせて3つのお預け入れ方法

募集期間 平成29年11月10日(金)～平成30年1月31日(水)

相談しながら手続きしたい……
窓口へお越しください

店頭でお預け入れの場合
1年もの預金金利
年0.125%（税引後 年0.099%）

来店する時間がない……
ATMでもお預け入れできます

ATMでお預け入れの場合
1年もの預金金利
年0.130%（税引後 年0.103%）

自宅・勤務先で手続きしたい…
インターネットバンキングが便利

インターネットバンキングでお預け入れの場合
1年もの預金金利
年0.150%（税引後 年0.119%）

商品概要

商品名	おかしん2017冬定期預金
取扱期間	平成29年11月10日（金）～平成30年1月31日（水）
販売対象	個人のお客様（個人事業主を含む）
預金の種類	スーパー定期　1年 自動継続（元金継続または元利継続）※満期金の支払いは、満期日が休業日の場合は翌営業日となります。
預入金額	1口10万円以上 ATMでのお取り扱いの場合、1回につき 現金10万円以上200万円以下（紙幣200枚まで） 振替10万円以上500万円以下（ご本人口座からの振替のみ）
払戻方法	満期日以後に一括して払い戻します。
金利	窓口でお預け入れの場合 ……1年0.125%（税引後0.099%） ATMでお預け入れの場合 ……1年0.130%（税引後0.103%） インターネットバンキングでお預け入れの場合 ……1年0.150%（税引後0.119%）
中途解約	やむを得ず中途解約をされる場合は、上記金利は適用されず、お預け入れ日から解約日までの当金庫所定の中途解約金利が適用されます。
税金	平成25年1月1日から平成49年12月31日までの間にお受取りになる利息には「復興特別所得税（0.315%）」が課税されるため、20.315%（国税15.315%、地方税5%）の税金がかかります。
その他	お預け入れ時の金利を約定利率として初回満期日まで適用します。 初回満期日以降は満期日（継続日）のスーパー定期の店頭表示金利を適用します。 満期日が当金庫休業日の場合のお支払いは翌営業日となります。 マル優もご利用いただけます。（窓口でお預け入れの場合のみ） この預金は預金保険制度の対象商品です。（預金保険制度により全額保護される決済用預金以外の預金と合算して、預金者お一人様あたり一金融機関ごとに元本1,000万円までとそのお利息が保護されます。）

詳しくは当金庫の窓口または 0120-508-153にてお尋ねください。

○苦情処理措置　本商品の苦情等は、当金庫営業日に営業店または顧客相談室(9時～17時、フリーダイヤル:0120-102-156)にお申し出ください。
○紛争解決措置　愛知県弁護士会(電話:052-203-1777)、愛知県弁護士会西三河支部(電話:0564-54-9449)の紛争解決センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、利用を希望されるお客さまは、当金庫営業日に上記顧客相談室または紛争解決センター(10時～16時)にお申し出ください。

毎月一回発行
発行所　岡崎市菅生町字元菅四一

発行／岡崎信用金庫　編集／地域振興部
電話〈〇五六四〉二五―七三四一（http://www.okashin.co.jp）